

自己評価結果票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域住民として生活することを目標として、独自の理念をつくりあげている	
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎日の唱和と定期的に理念の勉強会を実施し、ミーティング時などにも取り入れている	
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	地域に向けては、玄関前の掲示板に理念を掲示している。家族様へは契約時に説明を行っている	
2. 地域との支えあい			
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々とは、行事のお知らせや会議への参加を依頼している。また、GHでの手作りのおやつなどの差し入れも入居者様と共に行っている	
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事の案内の掲示や近隣会社主催のお花見や地域行事(リバーフェスタ)への参加、民生員主催のお茶会などに積極的に参加し交流を図っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p>		<p>地域貢献を目的に介護教室を開催している。また、暮らしに役立つ情報を掲示板で紹介している</p>
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>		<p>自己評価・第三者評価を受け、改善する項目については早急に取り組んでいる</p>
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>		<p>2ヶ月毎に開催し、施設の運営状況を説明した上で、助言や要望を取り入れサービスの見直しや改善を行っている</p>
9	<p>○市町との連携</p> <p>事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>		<p>認知症サポーター養成講座の依頼などを通じ、市町と連携の上取り組んでいる</p>
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>		<p>成年後見制度の勉強会を実施し、必要な方にはアドバイス出来る体制をつくっている</p>
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>		<p>県が行う研修等に参加し、施設内でも勉強会を実施し、日常的に注意を払っている</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	○契約に関する説明と納得	契約書の内容以外にも丁寧な説明に努めている		
	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている			
13	○運営に関する利用者意見の反映	日常生活を通じ、常に意見や希望を取り入れている。不満や苦情に関してはミーティング等で検討し、反映させている		
	利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
14	○家族等への報告	毎月の通信の中に様々な内容について報告し、また個別に来訪時や電話でお知らせをしている		
	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている			
15	○運営に関する家族等意見の反映	意見箱を設置すると共に、通信発送時に記入用紙を同封し、頂いた意見や苦情に対しミーティングにて共有し対応している		
	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている			
16	○運営に関する職員意見の反映	ほおずきの目標管理の制度であるマイチャレンジにより、職員の役割と、管理者から期待すること及び要求することを明確にし、職員の目標を定めており、定期的に面談を行い、意見反映の機会づくりに努めている。また、毎月、各ユニットのケース会議や、全体のパートナー会議の場でも、事故・ヒヤリハット、職員のマナー、日常のケアなどについて意見を出し合い業務改善に反映させている。		
	運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている			
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整	状況の変化に応じ、柔軟に勤務体制を変え対応している		
	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている			

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>18</p> <p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>利用者様との関わりを厚くする為、正職員採用を基本とし、異動は最小限に止めている。異動等が必要な場合は、最低1ヶ月の引継ぎ期間を設け、利用者様との馴染みの関係を引き継ぎ、環境変化を最小限に止めるよう努めている。</p>		
<p>5. 人材の育成と支援</p>			
<p>19</p> <p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人全体で階層別に、研修計画を立案し定期的に研修を行い、ホーム内ではOJTを中心とした研修も実施している。全職員を対象に、外部講師による講演会を定期的に開催することや、外部研修・勉強会の案内も行っている。また、資格取得のために必要な情報提供や、そのための勤務の調整を行い、ケアマネの対策講座や介護福祉士の実技指導等を行っている。合わせて、マイチャレンジで目標を明確にし、計画的に取得するサポートも行っている。</p>		
<p>20</p> <p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域での連絡会や協会に所属し交流活動を行っており、定期的な勉強会を通じ、他法人のグループホームや特養等の管理者・職員との交流を行っている。職員へ協会主催の勉強会の案内をしている。運営推進会議においては、構成員として他法人施設と相互参加に取り組んでいる。隣接して運営している事業所へケアマネージャーの皆さんが訪問下さる機会も多く、地域の情報を得る機会も多い。また、同業他社との相互見学を行うなど、悩みの解消等や自己啓発に役立っている。</p>		
<p>21</p> <p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>計画的に問題点等を共有する機会を設けており、管理者及び職員とマイチャレンジを実施し、いつでも発言しやすい雰囲気を作るよう心がけ、コミュニケーションを深める機会としている。また、外部講師により、実務中心の勉強会を行い、悩みや行き詰まりの解消をサポートしている。また、希望休や希望の有給休暇を取得出来るよう支援することや、親睦会を行い、管理者及び職員と親睦を深め、リフレッシュを図りストレス軽減に努めている。</p>		
<p>22</p> <p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>各職員の目標管理を行いマイチャレンジと面接制度を併用することで、管理者から問題提議と、管理者及び職員から希望を汲み取り、職員とコミュニケーションを図ることを大事に考えている。法人本部からの情報発信により、ご家族様からの温かい言葉(手紙)で喜びを共有することや、色々な事例に応じた勉強や検討が出来る仕組みを構築している。</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	申し込み時や入居決定の際の面接時に相談に応じ、不安の解消に努めている	
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	施設見学や問い合わせ時に時間を設け、相談に応じ不安へや要望に対応している	
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まづ必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時の状況に応じ、必要な支援を検討している	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	家族様の希望により併設しているDsを利用して頂くなど、施設の雰囲気に馴染めるよう相談の上行っている	
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	食事や家事など、生活を共にすることで、職員は介護者ではなく生活のパートナーとして関係を築いている	

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	共に支えあえるように情報交換を行い、家族会や食事会を通し関係づくりを行っている		
29	○利用者と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	利用者様の生活歴や家族関係の情報をもとに、入居後もよい関係が築けるように情報を提供し、支援している		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	馴染みの商店や神社などに通えるよう支援している。また、関係が途切れないように電話や手紙の支援を行っている		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	家事などの共同作業を行って頂くことにより、支えあう関係が築けるよう努めている		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	負担にならない程度に通信の発送や季節の挨拶を行っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
38	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常的に意向を把握出来るようにつとめている。また困難な場合も、ご本人の意向をくみ取る努力をしている	
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、ご本人やご家族と面接を行いアセスメントを行っている。また、CMとの情報交換もを行い、把握につとめている	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	水分摂取量や排泄の有無など、チェック表を使用し身体状況の把握を行っている。また、定期的にカンファレンスを開催し現状を把握できる様に努めている	
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者様には日常的に意見を聞き、家族様とは来訪時や面接時に意見交換を行い、それらを基に介護計画を作成している	
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	ご本人・ご家族と話し合いのもと、3ヶ月毎の見直しと状況に合わせた計画の変更を行っている	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録へはケアの実践・結果だけでなく、医師からの意見や指示なども記入し、介護計画の見直しに活かしている		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	個別の希望・要望に応じ、デイサービスの教室への参加など柔軟に取り組んでいる		
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の交番所と情報交換を行い、定期的に巡回に来て頂くなど、入居者様の安全確保に協力して頂いている。また、年3回実施する消防訓練には、消防隊に参加して頂いている。近隣の学校とも交流を図っている		
41 ○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他事業者と話し合い、入居者様や家族様のご要望・ご希望に沿ったサービスを提供している		
42 ○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	必要に応じ、協働できる体制をつくっている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>43</p> <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>利用者や家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>週に1度往診に来て頂き、入居者様の状態把握や疾病の早期発見・対応が行えるように連携をとっている。また、急な体調の変化時にも対応して頂ける様に常に情報交換を行っている</p>		
<p>44</p> <p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>認知症の専門医(橋本クリニック 池上医師)に相談や受診を日頃から行っている</p>		
<p>45</p> <p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>協力医である木下内科クリニックの看護師に日常的に相談や健康管理の支援をお願いしている</p>		
<p>46</p> <p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>家族様の意向を聞き、入院先の医師や看護師と話し合いながら早期に退院できるよう支援している</p>		
<p>47</p> <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>認知症の進行や身体機能の低下に伴い、家族様・協力医と話し合いの場を設け、今後の過ごし方について相談の上、職員全員に方針を説明している</p>		
<p>48</p> <p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ご家族・協力医との話し合いを行い、ご家族の希望を聞きながら、協力医と共にケアや医療方針を検討し支援する体制を整えている</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>事前にご本人様や家族様、各関係者との話し合い及び情報交換を充分に行い、ダメージを最小限に出来るように努めている</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1)一人ひとりの尊重</p>				
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>定期的に、言葉遣いや尊厳についての勉強会で周知徹底を行っている。</p>		
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>入居者様へは意思決定して頂けるような言葉かけや働きかけを行っている</p>		
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>食事時間や就寝時間、外出など、その方のペースやご希望に応じ過ぎて頂いている</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>				
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>TPOに合わせて身だしなみやおしゃれお楽しみめるよう支援している</p>		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と職員と一緒に、好みや季節が感じられる食事作りを行い、一緒に食事を摂り、片付けも能力に応じ行っている		
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	家族様と情報を共有し、昔からの好みを日常的に楽しめるよう支援している		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	お一人おひとりの排泄パターンを把握する為に排泄チェック表を利用し、気持ちよく排泄して頂けるように支援している		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望に応じた時間帯に入浴して頂き、入浴剤などを用い、楽しめるように支援している		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	お一人おひとりの体調や身体状況に合わせ、休息できる環境を提供している		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活に張りや生き甲斐を感じて頂けるように役割や楽しみごと、趣味の提供をしている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご家族の了解のもと、希望に応じて買い物の際など、お金を持参し、支払いを出来るよう支援している		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	気分転換の散歩やご希望に応じた買い物、通院など日常的に戸外に出かけられるような支援を行っている		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族様と共に参加できる日帰り旅行を行っている。また、個別に希望される所へ行けるように支援している		
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	日常的に出来るように支援している		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来訪時には居心地よく過して頂けるような環境を提供している。また、必要に応じ別室を提供している		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に勉強会を開催し周知徹底を図っている		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>66</p> <p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束や認知症の勉強会を通じ、施錠の弊害についての理解をしている</p>		
<p>67</p> <p>○利用者の安全確認</p> <p>利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	<p>職員が見守りを行い安全に配慮している。また、日常の観察から行動パターンを把握出来るように努めている</p>		
<p>68</p> <p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>	<p>必要に応じ対応している。夜間帯は薬品及び刃物類は所定の場所に保管している</p>		
<p>69</p> <p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	<p>勉強会やヒヤリハット検討会を通して取り組んでいる。個別の状態に応じ、カンファレンス等で取り組み情報を共有している</p>		
<p>70</p> <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>緊急時の対応について定期的に訓練や勉強会を行っている</p>		
<p>71</p> <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>定期的に消防訓練や避難訓練を行い、周知徹底している。地域の方へは運営推進会議を通し、災害時の協力を依頼している</p>		

	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	面談時やケアプランの説明時に、安心して暮らして頂ける環境を提供出来るよう話し合っている		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期に発見出来るよう毎日健康チェックを行うと共に観察を行っている。また、体調に変化があった場合は速やかに情報を共有し、職員間だけでなく医療機関とも協力体制がとれるように手配している		
74	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬表や薬情報を活用し、使用している薬を理解し症状の変化の確認に努めている		
75	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事時に食物繊維や牛乳を摂って頂けるようなメニューを考え提供している。また、腸の蠕動運動を促す為の、マッサージや体操を取り入れている		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後に歯磨きを習慣として行って頂いている。また、毎月、歯科医師・歯科衛生士による口腔ケア指導を取り入れ支援している		
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	職員が入居者様と食事を一緒に摂ることで、お一人おひとりの食事の摂取量を把握し、それに応じて支援している。また、体重測定や水分摂取量チェック表を用い確認を行っている		

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアル通り実行している		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食品は新鮮なものを購入し、その食品に応じた場所、管理法を選び管理している。また、台所や冷蔵庫、食品の保管場所は常に清潔に保つよう努めている		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節の花や可愛いぬいぐるみ等を飾り、親しみやすい環境づくりを行っている。また、休憩して頂けるようにベンチを置くなど工夫している		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よく過ごして頂けるように、環境整備と共に、季節の花を飾り、アロマなどで癒しを提供している		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	仲の良い入居者様同士で過ごせるように、空間づくりを行っている。また、和室を活用している		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>83</p> <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居の際に家族様に説明し、使い慣れた家具や馴染みの品を持参して頂き、居心地の良い部屋づくりを行っている</p>		
<p>84</p> <p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>	<p>空気清浄機を使用し調整を行うと共に、こまめに換気を行っている。室温は室温計を用い調整している</p>		
<p>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</p>			
<p>85</p> <p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>床のバリアフリーに加え、フローアや階段の手すりの取り付け、浴室の洗身台など。また、個別に自立した生活が送って頂けるように、居室内の充実(冷蔵庫やテレビ設置など)を提案している</p>		
<p>86</p> <p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>	<p>ご希望に応じた新聞の定期購読や昔馴染みの知り合いとの外出などの支援を行っている</p>		
<p>87</p> <p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>	<p>ベランダにプランターを置き季節の花や野菜などを栽培している。また、ベランダにて屋外パーティーを開催している</p>		

(部分は第三者評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目 ▲		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ケアプラン作成、見直しの際にはカンファレンスに家族様に参加頂き、要望を取り入れながらご本人様の支援を話し合っ作成している。日頃からミーティング時にミニカンファレンスを行い、情報の共有と共に状態の把握の上の見直しを行っている。